地域計画

策定年月日	令和7年3月31日				
更新年月日	- (-)				
目標年度	令和16年度				
市町村名(市町村コード)	朝日村 (20451)				
地域名 (地域内農業集落名)	北村地区 (大石原、北村)				

注「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	2.87 ha			
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	2.87 ha			
② 田の面積	2.20 ha			
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.67 ha			
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha			
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha			
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	1.13 ha			
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1.13 ha			
(備考)面積は基盤整備換地後仮面積で算出				

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・ほ場整備中だがいつから耕作ができるか、予定が立たない(予定はR6.3)
- ・先に整備が終わった他のほ場では、すぐにはよい作物ができず苦戦しているため、ここもすぐにはいいものができないのではないか(田はすぐにできそう)
- (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)
 - ●ほ場整備により土質等が変わったしまったため、最初は試しながら最適な作物を見つけていく
- 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

展末の対象の性が知ら同じに展出地の効果的が、と応じればなればに関する自然						
(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針						
ほ場整備により以前より集約されたため、今後は現耕作者で全体の農地を守っていく						
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標						
現状の集積率	63 %	将来の目標とする集積率	63	%		
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標						
現状維持						
20 Mar 14						

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 |(1)農用地の集積、集団化の取組 ほ場整備により農用地の集積、集約化が図られたため現状を維持する。 (2)農地中間管理機構の活用方法 所有者と現耕作者の貸付意向時期に配慮し、耕作ができなくなった場合は農地中間管理機構に貸し付ける。 (3) 基盤整備事業への取組 基盤整備は完了したが、さらに耕作しやすいよう必要に応じ改良していく。 (4)多様な経営体の確保・育成の取組 地域の農業者だけでなく他の地域の人もいるため、耕作者の変化により地域内外から経営体を確保していく。 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組 |耕作者が管理していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ☑ |①鳥獣被害防止対策 | ☑ |②有機・減農薬・減肥料 | ☑ |③スマート農業 □ 4 輸出 □⑤果樹等 □ 6燃料・資源作物等 │□ |⑦保全・管理等| ☑ 9その他 □ | ⑧農業用施設 【選択した上記の取組内容】 ①鳥獣防護柵を適正に管理しながら、鳥獣害に強い作物も検討していく。 ②有機農業者と慣行農業との共存

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

|③水田の自動水栓の検討

る)の取扱いができるものとする。

		現状			10年後				
	(目標年度∶令和 16 年度)								
	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考	
利用者	Α	野菜	0.09 ha	- ha	野菜	0.09 ha	− ha	1	
到達	В	水稲、野菜	0.29 ha	- ha	水稲、野菜	0.29 ha	- ha	2	
		水稲	0.11 ha	- ha	水稲	0.11 ha	- ha	3	
利用者		水稲、野菜	0.31 ha	- ha	水稲、野菜	0.31 ha	- ha	4	
利用者	E	水稲	0.14 ha	– ha		0.14 ha	- ha	5	
認農	F	野菜	0.13 ha	- ha	野菜	0.13 ha	- ha	6	
利用者	G	水稲	0.07 ha	- ha	水稲	0.07 ha	- ha	7	
認農	H	水稲	0.15 ha	- ha	水稲	0.15 ha	- ha	8	
認農	I	野菜	0.27 ha	- ha	野菜	0.27 ha	- ha	9	
認農	J	水稲、野菜	0.27 ha	- ha	水稲、野菜	0.27 ha	- ha	10	
利用者		野菜	0.26 ha	- ha	野菜	0.26 ha	- ha	11)	
利用者	L	水稲	0.09 ha	– ha	水稲	0.09 ha	– ha	12	
認農	М	野菜	0.70 ha	- ha	野菜	0.70 ha	- ha	13	
計	13経営体		2.87 ha	0 ha		2.87 ha	0 ha		

⑨農地中間管理機構を通じた貸借における賃借料については原則として金納とされているが、農地所有者の事情等 により、地域の農地利用調整の合意形成において物納が必要とされた場合は、金納に代わり物納(ただし、米に限

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名▪名称)	作業内容	対象品目
_	П	_	-

6 目標地図(別添のとおり)

北村地区目標地図



